

第3回山梨 U-12 リーグ検討委員会 まとめ

日時 平成 22 年 7 月 16 日

午後 7 時

場所 押原公園クラブハウス

出席者

4 種理事・専門部長

小林副委員長 福田理事 風間技術部長 矢崎審判部長 三科事業運営部長 鈴木広報部長

地区選出委員

清水（甲府） 笹川（峡中） 小林（峡北） 小宮山（峡東） 三沢（郡東） 宮下（郡南）

オブザーバー

今野（3 種）

リーグ戦実施（案）について各地区から検討結果を報告。

→概ね実施（案）での 23 年度からの実施に了承が得られた。

意見等

- ・前・後期の最終日を決めて運営したらどうか？そうしないと対戦できないカードが生じてしまう。（延期も可とするが、いつまでに実施するというのがないと、結局流れてしまう可能性がある。）
- ・リーグ戦を実施するにあたり目標が欲しい。（4 種公式戦としての重要性。）目標がないと、集まって試合を消化するだけになってしまう。
→日産 GC のシード権を与えてはどうか。
- ・リーグ戦の組分けにチビリン予選や前年度の成績は参考にならないのでは。
→各パートへのチーム分け（レベル設定）は各地区に任せる。
- ・3 ピリオドという意見もあるが、15 分前後半でスタートする。
- ・当該チーム同士で日程を組んだ場合、審判は？
→他チームに依頼が望ましい。
- ・グループの地区分けはこれから検討する。
- ・複数エントリーは 2 チームまで。

まとめ

- ・実施（案）に対して了承が得られたので、今後は検討委員会の意見を（案）に反映させ、より具体的なものにしていく。

- ・これまでの検討委員会を踏まえ、8月下旬の理事会前に実施（案）を検討委員に配布、確認をして、理事会にて検討のうえ、9月の評議員会で報告する。

資料・・・各地区（6地区）リーグ戦についての意見集約

次回開催 9月評議員会以降

4種リーグ戦検討委員会

第2回山梨 U-12 リーグ検討委員会

日時 平成 22 年 6 月 11 日

午後 7 時

場所 押原公園クラブハウス

出席者

4 種理事・専門部長

小林 福田 風間技術部長 矢崎審判部長 三科事業運営部長 鈴木広報部長

地区選出委員

清水（甲府）笹川（峡中）小林（峡北）小宮山（峡東）三沢（郡東）宮下（郡南）

オブザーバー

深沢（技術委員長）田辺（ユースダイレクター）石原（4 種委員長）横森（前副委員長）
今野（3 種）

意見等

- ・ 4 種主催の春・秋をなくしてリーグ戦を実施することを理事会で決定して欲しい。
- ・ 各地区で検討後、9 月の評議員会で提案（報告）する。
- ・ リーグ戦を行うのを前提としつつも、春と秋のトーナメントを残すというやり方もある。
- ・ トーナメントは意識しない方が新しい方向へ進める。
- ・ 規模によって必要な期間を定める。→日程的なものが決まってくる。
- ・ リーグ戦もない期間の設定も必要では。
- ・ U-10.11 も兼ねてできないか。（出来ないこともある。）
- ・ 春・秋はなくなる前提でないと難しい。
- ・ 春・秋はなくしたうえでリーグ戦を行う。（スポ少の大会は別）・・・委員会での決定

リーグ戦実施決定したうえでの意見等

- ・ プレーヤーズファーストと同時に、指導者・保護者の負担も考慮する。
- ・ 日程にゆとりが欲しい。（自主運営ができるところが欲しい。）
- ・ 理想は U-11 のリーグから U-12 に繋げられれば。
- ・ チビリンの予選がレベル設定の参考になる。
- ・ レベルの設定、ステップアップ、同じチームと何回もあたらないリーグ。
- ・ パートを分けるときにある程度地域を考慮したい。後期は地域の考慮はしづらい。
- ・ 前期は地域が広域にならず、レベルごとリーグ戦を行う。
- ・ リーグでの対戦は 2 回（H&A）1 回？→1 回でいい。
- ・ 1 パートの適正なチーム数は？→10 チーム程度（運営がしやすい数。）

- ・初年度は完璧に出来ないかもしれないが、動き出す。
- ・リーグでの順位によるステップアップ・前後期にするのがよい。

まとめ

- ・23年度は1パート10チーム、前後期、15分ハーフ、1日3試合で実施に向けてより具体的な案を作成し、各地区で報告・意見集約する。

次回開催 7月16日（金）

4種リーグ戦検討委員会

第1回山梨 U-12 リーグ検討委員会

日時 平成 22 年 5 月 7 日

午後 7 時

場所 押原公園クラブハウス

出席者

4 種理事・専門部長

小林 福田 風間技術部長 矢崎審判部長 三科事業運営部長 鈴木広報部長

地区選出委員

小林（峡北）小宮山（峡東）三沢（郡東）

オブザーバー

深沢（技術委員長）田辺（ユースダイレクター）石原（4 種委員長）

意見等

- ・ 検討するにあたり、課題の整理が必要。（規模・期間・複数エントリーやレベルの調整など）
- ・ 実施方法としては、U-12 の大会は残しつつ、U-10 で全県リーグを実施するというものがある。
- ・ 理事会で考え方を出して欲しい。（モデルケースを 4 種で出す。U-12 実施を想定して。）
- ・ 全日本だけはリーグとは離す。日産 GP はスポンサーがある。
- ・ 試合数、移動距離、対象年代、既存大会（公式・ローカル）の在り方。

まとめ

委員の中では、リーグ戦の実施についての異論はなく、全員が実施必要という意見だった。

ただし、実施するといっても、何も決まっていない中での会議だったので、ある程度の実施案を提示した上での検討が必要だったと思う。

今日までの U-12 年代の組織や大会運営等は、30 数年に及ぶ歴史の中での紆余曲折を経て築かれてきたものであり、リーグ戦の実施はその歴史を大きく変える大転換期となる。

次回以降の委員会において、具体的な実施案の検討に入るが、最終実施案に全ての 4 種関係者が理解を示し、協力することが大前提になると思う。